

九重の高原から

TAKE FREE

九重ふるさと自然学校
通信 Vol. 45

2020. 春号

さとばる時間

九重のさとばる【里の草原】で育まれてきた自然や文化、そしてそこに流れるようなのんびりとした時の流れを感じてほしいという願いを込めて、「さとばる時間」と名付けました。

カッコ〜♪ カッコ〜♪ カッコ〜♪

郭公
cuckoo



恋"鳥"をさがして。 高原に響く春のリズム



野焼きで幕を開ける九重の春。枯野と化した草原が黒く染まってから約1か月後、山と高原が新緑で鮮やかに染め上げられる頃にこの声の主がやってきます。

カッコウ(カッコウ科)は、東南アジアから繁殖のために日本に渡り、ほかの鳥に托卵して子孫を残すことで有名です。カッコウがなぜ托卵するかは、いまだにはっきりと分かっていませんが、体温と関係しているのではないかという説があります。カッコウは野鳥のなかでは、体温を一定に保つ能力が低く、昼と夜では体温が大きく変動します。そのため、卵を安定的に温めることができないので、できる鳥に托卵しちゃおう!というものです。

托卵されるモズやオオヨシキリなどの鳥からしたらはた迷惑な話。そこで、彼らも巣へ近づこうとするカッコウへの攻撃のほかに、卵の識別能力を獲得して対抗! 大きさも模様も違うカッコウの卵は、残念ながら巣から出されてしまいます。しかし今度は、カッコウが托卵する相手の卵の大きさや模様に似せて卵を産み落とすという、離れワザを会得したというのです。どちらが最終的に勝利するのか。自然界では毎年のように命をめぐる攻防が繰り返されているのでしょうか。

「カッコウ、今年はいつ来るかなあ。」
恋人のように待ち遠しい、牧歌的な春の到来もすぐそこです。

調査でわかった カッコウ豆知識

当校では2012年から8年間、九重町内でカッコウの初鳴きしらべを実施。九重のカッコウのこと、すこ〜し分かってきました。

- ①初鳴きはだいたい5月10日前後
- ②飯田高原が中心だが、町内ほぼ全域に飛来
- ③75回連続で鳴き続けた強者も

九重ふるさと自然学校は、セブン-イレブン記念財団が運営しています。

一般財団法人
セブン-イレブン記念財団

観光の途中にも、ふらっと気軽に寄れる。そして、九重の絶景が待っている…

自然学校に遊びにおいでよ！

九重ふるさと自然学校は、2019年夏に事務所を移転し、活動フィールド「九重自然教室 さとばる」と合体しました。阿蘇くじゅう国立公園内にある約7ha(サッカーグラウンド10面分)の敷地には、草原や湿地、池、雑木林などが広がり、多くの生きものたちの貴重なすみかとなっています。この敷地を開放し、散策などお楽しみいただけます。ぜひご利用ください。



2020年4月中旬からスタート予定の新サービスをご紹介します。

1 花図鑑ガイドマップで花めぐり

3つの散策コースで楽しむさとばるの花めぐりは、間近で手に触れて楽しめるのが一番！草花の写真撮影をしながらの散歩もおススメです。あなたの時間、都合、ペースで、高原を彩る花たちに会いに来ませんか？

*花図鑑ガイドマップは有料になります。1部100円



お子様でも簡単。九重のお土産にも！

3 ネイチャークラフト体験

クヌギなどのどんぐりで、愛嬌たっぷりのキャラクターやコマなどを自由につけてみましょう。野鳥の鳴き声に似た音を出すバードコールも作れます。

*体験料300円～。キット販売もあるので、おうちで工作もOK!



2 歩いて、さがして、なぞときにチャレンジ さとばる子どもクイズラリー

生きものをさがして観察！スタッフからのお題にキミは答えられるかな？挑戦者には「くじゅうの生きものカード」をプレゼント！



参加無料

【特別企画】

GWは田んぼでアソビツクセ!

「ゴールデン田んぼウィーク」開催

5月2日(土)～5月5日(火・祝)

各日10:00～16:00

当校のお米も生きものも育む田んぼで、自由に遊べるスペシャル企画です。泥遊びしたり、生きものをさがしたり…開催期間中は田んぼの中で遊び放題!いつ来ていつ帰っても構いません。田んぼを遊びつくしてください!



●1名300円 ●定員30名 *受付と退出届が必要です。
*最終受付15:30。ご都合の良い時間に越してください。
*生きものは持ち帰ることはできません。

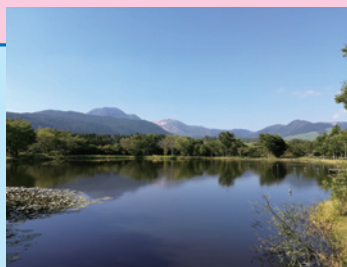
ご利用案内

入園無料

開園時間
9:30～17:00(最終受付16:30)

定休日 火曜

*祝日・プログラム開催日は開園、翌日に振替休業。ホームページでお知らせします。



事務所前の「みいれが池」から九重連山を望む

昔ここにミイレガツカという小高い塚があり、農作業の前に登ってその日の天気をよんだそうです。塚はもうありませんが、その名にちなみ「みいれが池」と名付けました。

*事務所棟の近くは車椅子で散策可
*池のほとりやウッドデッキで、昼食や休憩もできます。
*ゴミはお持ち帰りください。

先生は自然！そして地域のおいちゃんおばちゃん！ 「ふるさと探検クラブ」

九重町の子どもたちに“足元の身近な自然に目を向け、大切にしてほしい”という思いを込めてスタートした「ふるさと探検クラブ」(九重町・九重町教育委員会との共催事業)。筑後川をテーマに、源流域の九重町から有明海までをフィールドとして様々な体験を行っています。先生は自然！そして地域のおいちゃんおばちゃん！生きものことや釣りのコツを教わりながら、世代間で受け継がれにくくなっている、ふるさととの自然との向き合い方についても教わっています。

また釣ったマジャクや魚を自分たちで調理することにもチャレンジ！自分たちで釣って作った料理は、おいしい♡釣りや料理経験のない子どももいて、新鮮な体験のようです。川の恵み、有明海の恵みを頂くことへの感謝の気持ちと食への興味につながることを願います。

さらに同じ流域の子どもたちとの交流も大切にしています。2019年は熊本県荒尾市の荒尾干潟ジュニアレンジャーと九重町で、筑後川の最初の一滴を見つけに源流を探検しました。交流相手の住む地域への関心と共に自分たちのふるさとの良さ、誇りを感じる機会となっています。

多くの方に支えて頂きながらふるさと探検クラブは6年目を迎えます。子どもたちの心にふるさと九重への愛着が育まれています。

2020年、今年もまだ知らないふるさとを訪ねて探検に出たいと思います！



#ホテルの光っている景色が
すごくきれいだった
(第1回ホテルを見に行こう！)



#ホテルの幼虫のエサがカワニナ
だと知った
(ホテル博士のお話し)



#マジャク釣りが楽しかった
(第2回有明海キャンプ)



#荒尾干潟ジュニアレンジャーの
人と仲良くなれた”
(干潟の生きものを観察)



#釣った魚は美味しかった
(第3回魚釣り料理体験)



#川のはじまりの場所を発見した
(第4回源流探検)

ふるさとの自然をつなげたい「九重みらいひかる事業」

冬でも生きものがすすめる田んぼを

九重ふるさと自然学校ではお米も生きものも育む「自然共生型田んぼ」に取り組んでいますが、昔の田んぼは特に意識せずとも自然共生型田んぼになっていました。田んぼの生きものが少なくなった要因はいくつかありますが、「田んぼの乾田化」がその一つです。

初期の田んぼは、雨が降れば水がたまり、乾いても部分的に水たまりが残るような湿地を利用して作られたといわれています。しかし、今はこのような田んぼで稲作はできません。コンバインなどの機械を使うためには、水はけのよい乾田にする必要があります。機械化と乾田化は農作業の負担を大きく減らしましたが、一方で田んぼの湿地環境を利用してきた生きものから生息地を奪うことにもなりました。そこで自然学校では、田んぼビオトープ作りなどを進めてきましたが、今シーズンから冬期湛水(たんすい)の取り組みを始めました。

冬期湛水は稲刈り後の田んぼに冬も水を張る昔からある農法の一つです。水を張ることでイトミミズなどの土壌生物を活性化させ、彼らにワラや米ぬかなどを土ごと発酵してもらうことで、田んぼに養分を含むトロトロ層を形成するというものです。このように肥沃な土を生み出す冬期湛水ですが、同時にイトミミズや小魚などに生息場所を提供し、それらを餌とする水鳥も現れるという、自然と共生する副次的効果もあります。

近年の田んぼは冬の水使用は難しい場合も多く、冬期湛水はどこでも誰でもできるというものではありません。そんな中、自然学校の田んぼは冬でも水が使える環境に恵まれました。冬季湛水によって生きものが切れ目なく生息できるようになった田んぼに、ぜひ遊びに来てください。



水を張った冬の田んぼ。冷え込みで一部が凍結



トロトロ層



冬期湛水の田んぼに飛来したコガモ

ふるさとの自然をまもりたい「自然共生型田んぼづくり」

自然・里山プログラムに 参加しませんか？

草原・田んぼが
“みんなのあそびば
まなびのば” えんじょ〜い☆さとばる

自然で遊ぼう！おやとこ ~田んぼの巻~ 田植えと初夏の生きものしらべ

親子対象

6月6日(土)
*順延日6月7日(日)

10:00~15:00

- 大人1,100円
- 子ども(4歳以上)900円(教材費込)
- 定員20名

おやとこでは、田んぼの一年を体験！
10/10稲刈り、11/3収穫祭、12/12しめ
飾りとミニ門松づくり 全4回シリーズ

田んぼの水が温むと生きものたちが動き
出します。泥のなかや水草にひそむ生き
ものを探してみよう！ 田植えでは、お
米の苗を一本一本手植えします。



春のボランティアdayキャンプ 大人の田植え祭り

大学生・社会人対象

6月2日(火) 13:00~17:00
*順延日6月3日(水)

田植え紐を用いて手植えを行います。
かつて集落のお祭りのようだった多人
数での田植えを再現しましょう。

- 参加無料
- 定員14名



【告知】5月の連休は田んぼであそぼう！ ゴールデン田んぼウィーク

5月2日(土)~5月5日(火・祝) 10:00~16:00 ※詳細は2Pへ！

パワーツリー!?

カシワの葉でかしわ餅づくり

5月24日(日) 10:00~13:00

「子孫繁栄」の縁起物として、また
野焼きで火に巻かれても枯れるこ
となく生き続けるカシワの木。葉を
採集して、かしわ餅をつくります。

- 1名500円
- 定員20名



田んぼの生きものさがし

6月28日(日) ゲンゴロウの巻
7月25日(土) カエルの巻
8月23日(日) 水生昆虫の巻

【各回】10:00~12:30

田んぼで泥んこになりながら生き
ものたちを採集し、一緒にじっくり
観察してみましょう！ 毎回テーマ
を設定しますが、自由採集です。



- 1名300円
- 定員各20名

草原の生きものしらべ

7月24日(金・祝)

【午前の部】10:00~12:00
【午後の部】14:00~16:00

草原の文化を学び、夏の草原に生
息する動植物の観察や採集を楽し
みましょう。昆虫や花をスケッチし
て、絵ハガキのお土産を作ります。



- 1名500円
- 定員各10名

*生きものは持ち帰ることはできません。天候や社会情勢により開催中止や延期の場合があります。ご了承ください

歓迎 ボランティア募集

大学生からシニアの方まで活躍中

フィールド整備や体験プログラムの補
助、生きもの調査から九重地域の自然環
境保全活動などまで、活動を支援して
いただけるボランティアを募集中です。登録
後、随時活動案内を送付します。ご希望
の活動にご参加ください。申し込みや不
明な点は、電話、メールで気軽にお問
い合わせください♪

報告 冬の小さな訪問客たち

ボランティアの皆さん
と一緒に手作りした
バードフィーダー(餌
台)。厳しい冬を乗り
越える野鳥たちへの
応援を込めて設置し
ています。この冬一番
の積雪の日、ミヤマホオジロの群れが訪れ
ました。他にもシジウカラやゴジュウカ
ラ、ヒヨドリなどが常連さんとなりました。



STAFFあとながき

例年に比べ雪が降らずと
もしっかり寒かった九重。
気温が段々と春らしくな
り、2/24にウグイスの初
鳴きを聞きました。事務
所前の「みいれが池」で
も鯉たちが動き出し、冬
の間は風でしか揺れなかつた水面が唐突に波
紋を浮かべるように。しかし、早朝はまだ氷点
下。油断できない春の始まりです。(江上)



お問合せ 九重ふるさと自然学校

(運営：一般財団法人セブン・イレブン記念財団)

【開園時間】9:30~17:00 【定休日】火曜

※祝日・プログラム開催日は開園、翌日等に振替休業

〒879-4911 大分県玖珠郡九重町大字田野1726-408

TEL 0973-73-0001 FAX 0973-79-3434

☑ kujyu-sizengakkou@7midori.org

ホームページ <http://www.7midori.org/kokonoe> facebook でも
情報発信中！

★カーナビでの経路検索は、「マップコード入力」が簡単！確実です。

MAPCODE 440 824 582*03 ←左の番号を入力してください。

*「マップコード」および「MAPCODE」は(株)デンソーの登録商標です。



スマホから
経路検索！



事務所

九重自然教室
「さとばる」

長者原
ビジターセンター